

景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

① 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

② 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

③ 調査期間

令和元年5月7日(火)～16日(木)

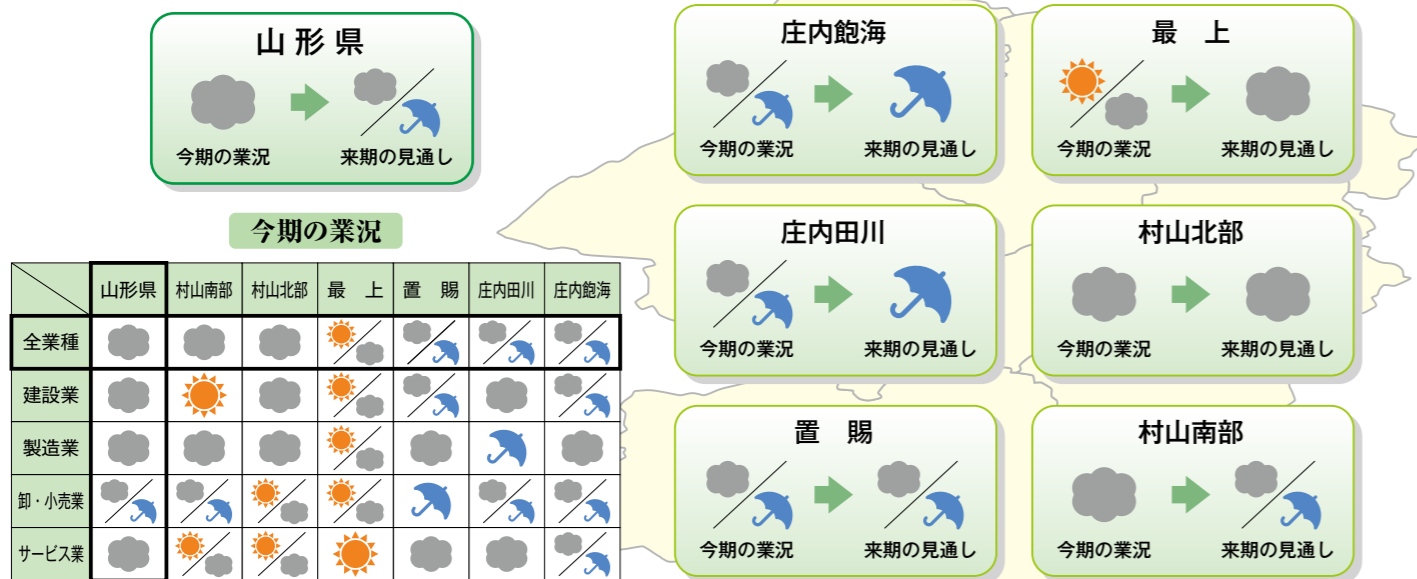
④ サンプル概要

アンケート対象企業 山形669社、秋田519社
有効回答数 山形415社、秋田372社
回答率 山形62.0%、秋田71.7%

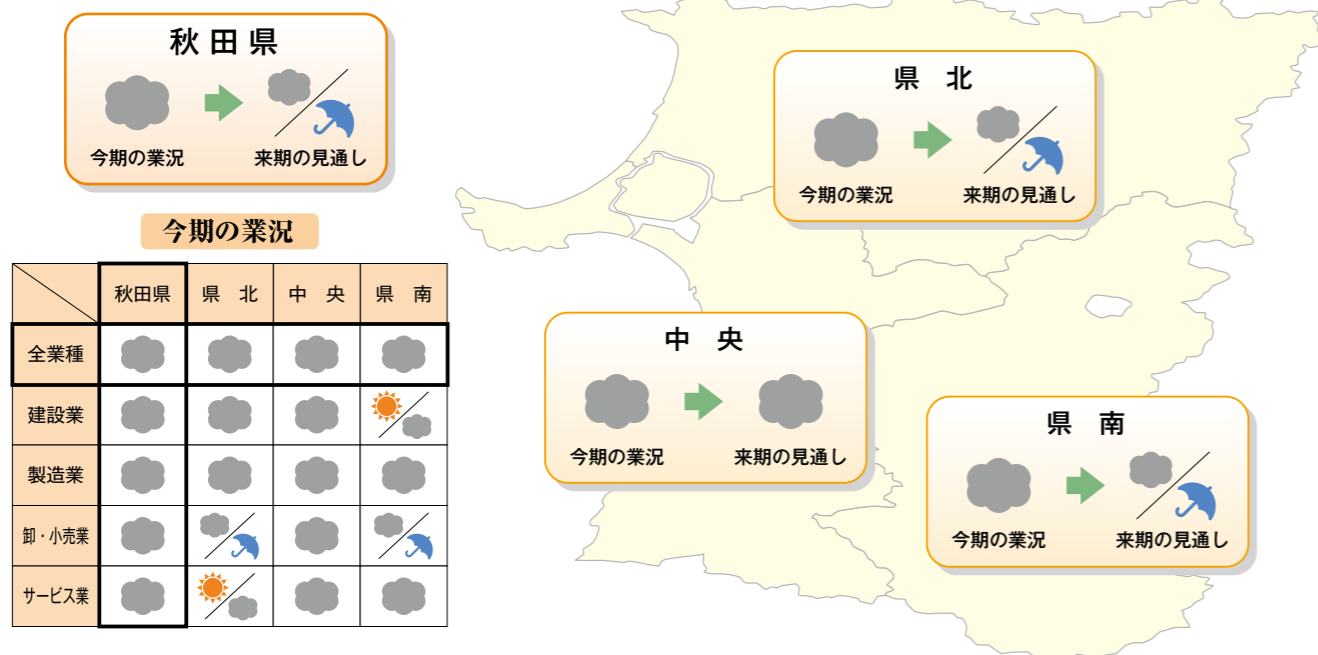
特に好調 DI \geq 30	好調 30>DI \geq 10	まあまあ 10>DI \geq ▲10	不振 ▲10>DI \geq ▲30	きわめて不振 ▲30>DI

景気の天気図

第59回 山形県内企業の景気動向調査



第32回 秋田県内企業の景気動向調査

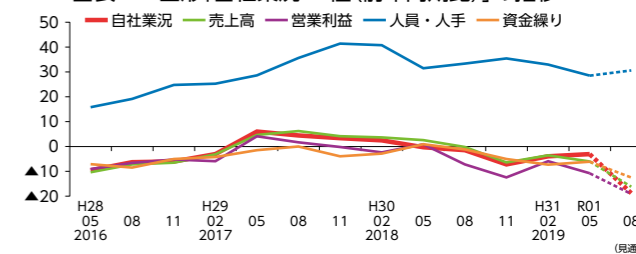


自社業況の動向

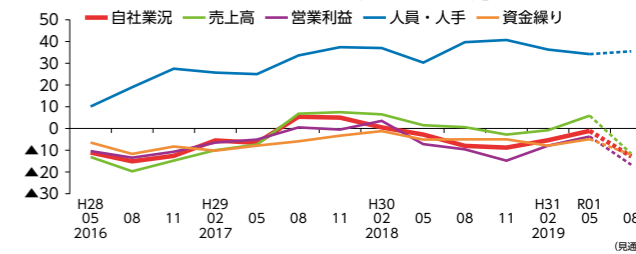
山形県の業況は、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲3.1(前回調査比0.9ポイント上昇)と小幅ながら2期連続で改善した。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「売上高」「営業利益」が悪化したものの、「資金繰り」が改善した。「人員・人手」は2期連続でプラス幅が縮小した。先行きは▲18.8と大幅に悪化の見込み。

秋田県の業況は、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲1.1(前回調査比4.3ポイント上昇)と2期連続の改善となった。「各種DI値(前年同期比)」では、「売上高」「営業利益」「資金繰り」がいずれも改善したほか、「人員・人手」は2期連続でプラス幅が縮小した。先行きは、▲12.9と悪化が見込まれている。

図表1 山形「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表2 秋田「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

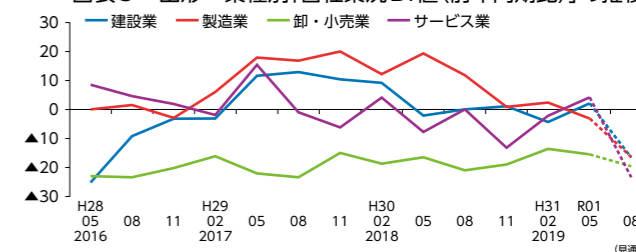


業種別の動向

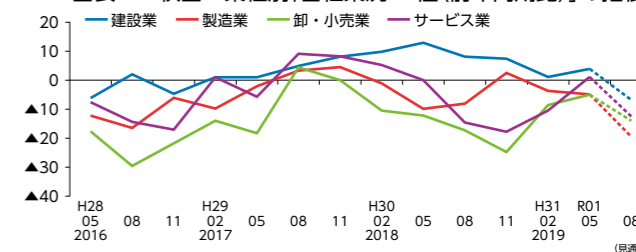
山形県の業況(前年同期比)を業種別にみると、建設業とサービス業で改善となった一方、製造業と卸・小売業で悪化した。先行きは、すべての業種で悪化の見込みとなっている。

秋田県の業況(前年同期比)を業種別にみると、卸・小売業とサービス業が2期連続の改善、建設業が4期ぶりの改善となった一方、製造業は2期連続の悪化となった。先行きは、すべての業種で悪化が見込まれており、特に製造業とサービス業が厳しい見通しを示している。

図表3 山形・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表4 秋田・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

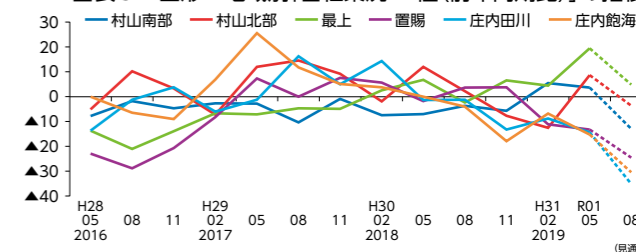


地域別の動向

山形県の業況(前年同期比)を地域別にみると、村山南部、置賜、庄内田川、庄内飽海で悪化したものの、村山北部、最上で改善となった。村山北部ではDI値がプラスに転じた。先行きは、すべての地域で大幅な悪化が見込まれている。

秋田県の業況(前年同期比)を地域別にみると、県北が3期連続で改善してプラスに転じたほか、中央は2期連続で改善した。一方、県南は小幅ながら2期ぶりの悪化となった。先行きは、3地域すべてで悪化の見通しとなっている。

図表5 山形・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表6 秋田・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

